

# 小野市議会 2

だより Ono city assembly 2008 / No.130



明るくなった議会フロアー

市民のみなさまを

明るくお迎えします

議会フロアーをリニューアル

(40数年ぶり)

12月定例会  
全国初!!  
小野市いじめ等防止条例  
可決

第351回 12月定例会

一般質問

・加島 淳 ・藤原 健  
・掘井算満 ・川名善三  
・岡嶋正昭 ・井上日吉  
・藤本修造 ・鈴木 元

議案質疑

・竹内 修 ・山中修己

議会傍聴

12月定例会86人(託児0人)  
6~12月 計196人

# 12月定例会

## 一般質問発言者

加島 淳議員

- ・歩くことについて
- ・震災ネットワークづくりについて

藤原 健議員

- ・救急車利用の適否判断と接近警報音について

- ・小野市民病院小児科の拠点病院としての現状と、更なる飛躍について
- ・児童館チャイコムの運営の現状について

掘井算満議員

- ・上田三四二記念、小野市短歌フォーラムについて
- ・未収金対策について

川名善三議員

- ・市立ひまわり園通園バス介助支援について
- ・ひとり親家族に対する支援策について
- ・アフタースクールのさらなる充実について

岡嶋正昭議員

- ・固定資産税の課税について
- ・農業の保全について

(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

井上日吉議員

- ・安心して暮らせる小野市を構築するため

藤本修造議員

- ・更なる安全安心のまちづくりについて
- ・商品販売額その他市との比較について
- ・市政懇話会について

鈴木 元議員

- ・県「行革」による市政への影響について
- ・「小野いじめ等防止条例」(案)について
- ・「後期高齢者医療制度」について

## 質疑発言者

竹内 修議員

- ・議案第76号小野市病院事業会計補正予算について(企業債償還金の具体的内容)
- ・議案第77号小野市水道事業会計補正予算について(企業債償還金の具体的内容)
- ・議案第78号小野市下水道事業会計補正予算について(企業債償還金の具体的内容)

- ・議案第79号小野市いじめ等防止条例の制定について

山中修己議員

- ・議案第73号小野市一般会計補正予算について(全国ハーブサミット推進事業費170万6千円の具体的内容ほか)
- ・議案第79号小野市いじめ等防止条例の制定について

- ・小野市職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について



市民のみなさま！議会傍聴にお越しいただきありがとうございました。

### 3月定例会一般質問予定議員

- |        |    |
|--------|----|
| ・吉田成宏  | 議員 |
| ・松井精史  | 議員 |
| ・石田喜久男 | 議員 |
| ・河島信行  | 議員 |
| ・藤井玉夫  | 議員 |
| ・山中修己  | 議員 |
| ・松本哲昇  | 議員 |
| ・竹内修元  | 議員 |
| ・鈴木    | 議員 |

一般質問は3月10日、11日におこなわれます。  
ぜひ、傍聴にお越しいただき、議会の活性化について、ご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

## 第351回 12月市議会定例会

■市議会は、12月定例会を4日から20日までの17日間開催しました。市長からは、議案第73号から議案第78号までは、各会計補正予算、議案第79号から議案第85号までは、条例の制定、議案第86号は規約の変更、議案第87号は委員の選任、議案第88号は委員の任命についての16議案が提出され、いずれも原案どおり可決しました。また、9月市議会定例会において、議案第58号から議案第62号まで決算特別委員会に審査を付託し、閉会中の継続審査とした議案5件は、委員長報告を行い、原案のとおり認定しました。

ご意見をお待ちしています。

議会のメールアドレス: gikai@city.ono.hyogo.jp



新生クラブ  
加島 淳 議員

**質問** 健康を維持するには適度な運動が不可欠。手軽に取り組めるのが「歩く」こと。小野市の取り組みは？

**答弁** 「ハートフルウォーキング、一日一万歩運動」は、5、660人がウォーカー宣言をし、新たなボランティア組織も発足、一人でも多くのウォーカーを育てていきます。

(教育次長)

**答弁** 多くの市民に自然に接していただけるようハイキングコースを整備してきました。今年度は「こだまの森」周辺を、平成22年度には粟生周辺の事業に着手します。

(地域振興部長)

**答弁** 高齢者の健康診査結果により「メタボリックシンドローム」該当者やその予備群には、医師、保健師、栄養士等による「健康教育事業」を実施しています。

(市民福祉部長)

**質問** 加古川の東部地区には、防災蓄倉庫・耐震性貯水槽が設置されていますが、加古川の西部地区(河合・来住)にも必要ではありませんか。

**答弁** 県の防災計画の見直しがあれば、市の防災計画も見直し、備蓄倉庫の新設も検討いたします。

(市民安全部長)

**質問** 山崎断層帯中の三木断層はどのあたりを通っていますか。

**答弁** 断層は河合地区から小野地区そして市場地区を通っています。

(市長)

**質問** 兵庫県のアニックス共済の加入率は。

**答弁** 11月20日現在、12・2%であります。来年末は30%を目標としています。

(市長)



新生クラブ  
藤原 健 議員

**質問** 救急車利用適否の判断は？

**答弁** 小野市の救急件数はこの10年で約1・5倍、昨年は1、734件を数え、主な原因は高齢化に伴うものであり全国的な傾向です。救急車は3台を配置し、増加する救急業務に対応しております。中には救急車を必要としない搬送も含まれておりますが、軽症患者といえども、患者家族にとって症状と病名、処置について判断ができず、電話を受ける消防としても画一的な対応をとらざるを得ない状況と考えております。

(消防長)

**質問** 救急車の接近をもっと分かりやすくできないのか。

**答弁** 救急車のサイレン音は、道路運送車両法の保安基準で定められております。マイクで知らせたり、ス

トロボライトを使ったりして救急車の接近を分かりやすくしておりますが、交通事情の変化等により、緊急走行に支障を来すことがあります。多くはドライバーのマナーの低下が考えられますので、広報等で運転マナーの向上を呼びかけます。

(消防長)

**質問** 小野市民病院小児科の24時間、365日診療の早期実現を！

**答弁** 市民病院には7人の小児科医師が在籍しています。小児科を北播の拠点病院として、24時間、365日、いつでも安心できる医療を提供したいとは思っておりますが、全ての救急に対応できるものではありません。

現在のところ小児救急を一手に担うのは困難な状況ですが、引き続き、医師確保や体制づくりに取り組みます。

(市民病院事務部長)



新生クラブ

掘井 算満 議員

未収金、不納欠損処理

対策について

「上田三四二記念  
小野市短歌フォーラムについて」

**質問** 上田氏から寄贈された蔵書と遺品、フォーラム投稿者の作品の展示保存管理に、もう一歩踏み込んだ取り組みと、短歌のまち小野市の情報発信に、どのように取り組まれるのか、伺います。

**答弁** 上田三四二氏の22、000冊に及ぶ蔵書と遺品、投稿作品の保存展示については、市立図書館、好古館に大切に保存し、毎年、上田三四二展を開催しています。

短歌に久しむ市民に伝えるためにも、格調の高い全国一の短歌のまちを目指して、市民の意見、費用対効果を含め、選者の皆さんと共に検討を加え、「短歌のまち小野市」を発信して参りたいと考えます。

(教育次長)

**質問** 現在、地方自治体は未収金の回収に格段の努力を重ねており、各市では、その徴税力が問われております。本市は、公金納付について、市民の利便性をどのように図られていますか。また、不納欠損処理の防止対策は、どのように取り組まれますか、伺います。

**答弁** 本市では、口座振替が全体の7割を占め、残りは窓口納付となっておりますが、一部の公共料金について、コンビニエンスストアでの納付など多様な納付窓口を実施しており、今後さらなる納付しやすい方法を検討していきます。

不納欠損対策につきましては、その発生原因が破産、倒産、居所不明が主な原因となっており、徴収体制の強化に加え、早期の法的措置を進めるとともに、時効防止に努めたいと考えます。

(収入役)



公明党

川名 善三 議員

市立ひまわり園通園バス

介助支援について

**質問** 現在、通園バスでの介助は保護者にて当番制で行われているが、今後の介助支援策について伺います。

**答弁** 乗車介助等は、原則、通園バスを利用される保護者の輪番制で、ご支援いただいています。現在、15名の方が、1月当たり1・5回程度、朝夕のバス運行に付き添い、1日、5時間以上の乗車介助が、身体的・精神的に大きな負担となっているのご意見も伺っています。そこで、通園バスの介助支援策については、バス導入時の協議事項、保護者の支援状況や高齢化、また、利用者の障害の重度化などを整理し、保護者にとって過度なご負担とならないよう、今後、検討を進めてまいります。

(市民福祉部長)

**質問** アフタースクール指導員に対する研修等の実施について伺います。

**答弁** アフタースクールの指導員は、教員免許あるいは保育士資格を取得していますが、更に専門的力量や資質の向上を図るため、毎年、県の「放課後児童指導員等専門講座」と、他機関の「指導員専門講座」に参加しております。また、年3回「学期末連絡・反省会」を開催し、現場の状況把握や自己研鑽に努めております。

(市民福祉部長)

歩車分離式信号の導入について

**質問** 歩車分離式信号の導入について

**答弁** 歩車分離式信号機は、車両と歩行者の交差を無くす制御方式の信号機のことです。現在のところ小野市内には歩車分離式信号機は設置されていません。歩行者の事故防止対策としては有効であると考えますが、まずは通常の信号機の新設要望を社警察署にまいります。

(市民安全部長)



市民クラブ

岡嶋正昭議員

**固定資産税の課税について**

**質問** 土地評価額が年々下落していますが、課税状況について伺います。

**答弁** 課税評価額は、地価公示価格の七割程度を適正な価格として決定しています。

また、地価の大幅な下落・上昇などの変動には税負担の平準化のために、負担調整措置等を設け調整しています。  
(総務部長)

**質問** 償却資産(リース資産)への課税に対する確認状況について伺います。

**答弁** リース物件につきましては、所有者であるリース会社への課税となります。

本年度は、125社、取得価格134億円となります。その課税額は、

約7,300万円となっています。

課税につきましては、税務申告書等の申告内容を調査し、現地調査及び申告指導を実施しています。いずれにしても市税の根幹となる土地・家屋・及び償却資産の課税については、適正な課税客体の把握に努めてまいります。  
(総務部長)

**農業の保全について**

**質問** 耕作放棄農地が多くなり懸念されるのですが、その対策を伺います。

**答弁** 市内の農振農用地は約2,000ヘクタールあります。

耕作放棄への対策といたしましては、「地域の農地は地域で守る」ことを前提として、国の政策である「農地・水・環境保全向上対策事業」にて、遊休農地を発生させない取組を続けていきます。  
(地域振興部長)

**安心して、暮らせる**

**小野市を構築するために**

**妊婦の検診について**

**質問** 妊婦健康診査事業は、少子高齢化社会解消の一助になっています。情報提供はどのようにされていますか。

**答弁** 安心して出産を迎えていただくために、所得制限を設けずに、一回1万5千円を限度額として助成をしています。

また、母子手帳交付時に、制度の説明を行い「妊娠後期健康診査受診券」をお渡ししています。さらに広報、ホームページに助成制度を掲載し、周知に努めます。  
(市民福祉部長)

**学童保育の現状について**

**質問** 働く女性が増える中、学童保育は、不可欠な事業となっていますが、施設が狭くて入れない児童もい



新生クラブ

井上日吉議員

ます、現状と今後の改善について伺います。

**答弁** 現在、大部小学校のアフタースクール教室は狭いために、今後、ほかの部屋を利用できないか市民福祉部と協議し、良好な環境で学童保育ができるよう努めてまいります。  
(教育長)

**医療用廃棄物の回収について**

**質問** 在宅医療が増え、家庭の医療ゴミで収集作業員が肝炎などにかかる恐れがあり、医療ゴミ対策について伺います。

**答弁** 在宅治療で使用した注射針等の医療廃棄物は、医療機関及び調剤薬局へ返却して頂き、焼却処理しています。すべての在宅治療者の医療廃棄物が処理されているかの実態はつかめていません。

在宅治療者には注射針等の医療廃棄物は家庭ごみとして排出しないよう広報、啓発をしています。

(市民福祉部長)



市民クラブ

藤本修造議員

更なる安全安心の

まちづくりについて

**質問** 現在社警察署に提出されている要望及び信号機などの設置状況について伺います。

**答弁** 現在社警察署に提出されている要望件数は、信号機の設置が21箇所、一時停止が17箇所、横断歩道が32箇所。

小野市からの要望件数は信号機が17箇所、一時停止が15箇所、横断歩道が20箇所。社警察署管内での平成16年から18年の3カ年の設置数は、信号機が0箇所、一時停止が21箇所、横断歩道が9箇所。

小野市での平成16年から18年の3カ年の設置数は、信号機が0箇所、一時停止が4箇所、横断歩道が4箇所。平成19年度の小野市における設置数は、11月末現在で信号機・一時

停止・横断歩道とも設置なし。公安委員会の意思決定いわゆる設置が決定したものが、一時停止で2箇所、横断歩道で8箇所となっています。  
(市民安全部長)

商品販売額の他市との比較について

**質問** 今後の小野市の取り組みを伺います。

**答弁** 小野市は759億円、西脇市は1,019億円、三木市は2,089億円(平成16年度商業統計調査)。長期的なビジョンが必要です。一歩ずつ着実に、そして時には、大胆に対応することも必要です。

今後行政として商業活性化が図れるまちづくりへの誘導策、個別商業店舗が張り付く環境整備、道路計画と都市計画により「まち」の魅力を創出し、民間の進出を誘導する政策が必要であると考えています。  
(総合政策部長)



日本共産党

鈴木 垣 元議員

県「行革」による

市政への影響について

**質問** 兵庫県は、財政指標が都道府県でワースト2だったことから、今後10年間職員の3割削減ほか、建設事業費の削減、事務事業費の見直し、補助金カットなどを打ち出した。市政への影響はどうか。

**答弁** 県行革プラン案では、今後10年間で1兆1,510億円の削減を掲げています。市に直接影響する主なものは、自治振興事業補助金の廃止、トライやるウィーク事業、スクールアシスタント配置事業の負担割合の変更等です。住民に影響を及ぼすものでは、老人医療費助成事業・乳幼児医療費助成の支給基準見直しなどで、市予算への影響額は約1億円と試算しています。  
(副市長)

**質問** 県行革案に対し、県下の多くの市町は地域の事情を踏まえ申し

入れを行っている。小野市はどうしたか。

**答弁** 市長会と知事の懇談会の席上①行革に至った経緯、具体的内容など県民に対し説明責任を果たすこと。②県民負担増加につながる見直しは再考すること。③教職員配置・スクールアシスタントの継続拡充等が要望されました。

小野市独自では、「県は腹をくくって改革を進められるべきだ。改革を自らが県民に説明を行い、成果を見える形で公開すべきである」と申し上げました。  
(市長)

**質問** 小学校六年までの医療費無料化は、市単でも継続するとしているが、他の事業、特に福祉関係事業はどうか。

**答弁** 市の基本は、福祉行政の推進であり、そのために努力するのが私の仕事。まだ中身が決定しておらず、もう少し推移を見守りたいと考えています。  
(市長)



議案質疑

公明党

竹内 修 議員

企業債償還金について

質疑 企業債償還金の具体的内容について伺います。

答弁 「補償金免除繰上償還制度」により行財政改革を進める自治体が既往の高金利の地方債を繰り上げ返済できる事になり低金利のものへの借り換えや減債基金積立金(借入金)の返済増加等に備える基金を充当して繰り上げ返済して金利負担を軽減、支出削減を図ります。

◎病院事業、施設整備分の借入残高、9億2,385万円の借換で約1億9千万円軽減。

◎水道事業、浄水施設等整備分の借入残高、9千412万5千円の繰上げ返済(減債基金積立金充当)で約1千700万円軽減。

◎下水道事業、下水道整備の借入残高、7億4千650万円の借換で約

1億7千万円軽減。

(企業会計各部長)

小野市いじめ等防止条例について

質疑 小野市いじめ等防止条例による効果とそれにより小野市をどう導くのか。

答弁 全国初の本条例は、いじめ等の問題に対する市民意識を高め、いじめ、虐待、DV、セクハラなどの防止につながると考えます。

また、市民や企業などと連携し地域ぐるみで防止活動を展開することで情報の早期収集ができ状況把握ができやすくなり重大な問題に至る前に対応できると考えます。

大きな社会問題であるいじめ等の防止に取組む固い決意を示し、市民の理解と協力を得て活動を展開することで人と人とのつながりが強められ支え合い助け合うことが大切にされる社会「ハートフルシティおの」の創造につながると考えます。(市長)



議案質疑

市民クラブ

山中修己 議員

一般会計補正予算

質疑 ひまわりの丘公園整備事業2、460万円の具体的内容について

答弁 平成21年度に「食と健康」というテーマで、「第18回全国ハーブサミット小野大会」をひまわりの丘公園で開催することになりました。

今回はこの大会に備え、大規模な改修を考えており、国庫補助事業「まちづくり交付金事業」を活用し整備を行います。工事費、事務費及び測量経費を補正しようとするものです。(地域振興部長)

質疑 女性消防隊推進事業百万円の具体的内容について

答弁 財団法人日本消防協会の「女性消防隊による安全で災害に強い地

域づくり推進事業」の助成を受け、D-1級軽可搬消防ポンプ一式他の購入費用です。育ヶ丘女性消防隊に対し、配備します。(消防長)

質疑 小野市いじめ等防止条例の制定における「いじめ」についての小野市の基本的なとらえ方について

答弁 小野市がとらえている「いじめ」は、子どもに対するいじめという狭義のいじめではなく、学校でのいじめ、地域でのいじめ、家庭や施設等での虐待、家庭等でのDV、職場等でのパワー・ハラスメントなどの「あらゆるいじめ」という広義のいじめであります。いじめは人が人らしく生きることを妨害するものであり、あらゆる人権侵害の根源であると捉えています。全ての市民が力を合わせて取り組むことが重要であると考える、この条例の制定をめざしたものです。(市長)

# 審査報告



いじめ問題に取り組むヒューマンライフグループ

## 総務文教常任委員会付託議案

- ・ 議案第73号 平成19年度小野市一般会計補正予算
- ・ 議案第80号 小野市長の選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の制定について
- ・ 議案第81号 小野市職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第82号 議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第83号 特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第84号 一般職の職員の給与に関する条例及び小野市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

12月定例会提出議案の審査付託について、18日、総務文教、民生保健、地域振興各常任委員会を開催しました。審査付託議案は、議案第73号から第86号までの計14件、及び、請願第1号から第4号までの計4件であり、議案は市当局から詳しく説明を受けるとともに、請願については、紹介議員からの内容説明を受け、議案及び請願について慎重に審査をいたしました。

○総務文教常任委員会（掘井算満委員長）に付託された6件の議案のうち議案第81号小野市職員の育児休業に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての審査では、「職員が育児休業を取得する場合、その職場の事務に支障をきたすことのないように、また、市民サービスの低下にならない

よう、人事配置については配慮されたい」との意見がありました。また、議案第82号・議案第83号について反対討論があり、採決の結果賛成多数で可決すべきと決まりました。残りの4議案についてはいずれも全会一致で可決すべきと決定しました。

## 開かれた議会と活性化をめざす取り組み

市議会の各会派では、市民のみなさま方に開かれた議会活動と議会の活性化に取り組んでいます。議会活動のひとつとしまして、新生クラブ（井上日吉幹事長）、市民クラブ（藤本修造幹事長）、公明党（川名善三幹事長）の3会派は、議会のホームページにリンクして会派のホームページを公開いたしております。ご覧いただき、ご意見をお寄せくださいますようよろしくお願いたします。（新生クラブ掲示板 <http://ono-shinsei-club.sakura.ne.jp/keijiban/shinseiclub.cgi>）（市民クラブは議会のメールアドレスへ）（公明党は公明党ホームページからメールができます）

- 総務文教
- 民生保健
- 地域振興

# 常任委員会

## 民生保健常任委員会付託議案

- ・ 議案第74号 平成19年度小野市国民健康保険特別会計補正予算
- ・ 議案第75号 平成19年度小野市介護保険特別会計補正予算
- ・ 議案第76号 平成19年度小野市病院事業会計補正予算
- ・ 議案第77号 平成19年度小野市水道事業会計補正予算
- ・ 議案第78号 平成19年度小野市下水道事業会計補正予算
- ・ 議案第79号 小野市いじめ等防止条例の制定について
- ・ 議案第86号 播磨内医務事業組合理約の一部変更について
- ・ 請願1号 悪質商法被害を助長するクレジットの被害を防止するための割賦販売法の抜本的改正に関する請願書
- ・ 請願2号 保険でよい歯科医療の実現を求める意見書採択を求める請願
- ・ 請願3号 医療費の総枠拡大を求める請願
- ・ 請願4号 兵庫青野原病院結核病棟の存続と充実・強化についての請願

○ 地域振興常任委員会（藤原 健委員長）に付託された2件の議案の審査では、反対討論はなく、いずれも全会一致で可決すべきと決定しました。

○ 民生保健常任委員会（加島 淳委員長）に付託された11件の議案のうち、議案第79号小野市いじめ等防止条例の制定についての審査では、『全国に先駆けた、小野市いじめ等防止条例を制定しようとするものであり、小野市民一人ひとりが、家庭や職場、地域社会の中で、生き生きと暮らせる「ハートフルシティおの」の実現をめざすよう、議員も市民とともに、いじめの根絶に向けて行動していく』と全委員が決意されました。また、議案7件と請願4件について、反対討論はなく、可決・採択すべきと決定しました。

## 地域振興常任委員会付託議案

- ・ 議案第73号 平成19年度小野市一般会計補正予算
- ・ 議案第85号 小野市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について



## ◎ 託児コーナー ◎

お子さまをお預かりします 3月10日(月)、11日(火)

3月定例議会にも「託児コーナー」を開設しています。質疑・一般質問がおこなわれる3月10日(月)、11日(火)の2日間で、いずれも10時から正午までの2時間です。

1歳から就学前までのお子さまの保護者の方が対象です。ご希望の方は、3月3日までに、議会事務局へお電話（電話番号63-1006）でお申し込みください。

託児のお世話をしていただくのは、託児ボランティアグループ・小野託児サークル「このゆびと～まれ♪」のメンバーのみなさまです。

（当日、託児の受付はできません。あらかじめお申し込みくださいますようお願いいたします）

全国のいじめ件数124,898件、前年の6.2倍に

# 問題意識を高め いじめ、虐待防止を!

## 小野市いじめ等防止条例 前文

すべて人は、かけがえのないひとりの人間として互いに尊重されなければなりません。小野市では、市民憲章や差別を許さない明るい都市宣言の下、あらゆる人権課題の解決に向け、積極的な施策を展開しています。しかし今日、物質的には豊かな生活の中で、心の荒廃やいじめ等の問題が家庭、学校、企業、地域社会などあらゆる生活環境において、憂慮される事態となっています。

いじめ等は、基本的人権を脅かす行為です。この問題の背景には、家庭、学校、企業、地域社会などのそれぞれの要因が複雑に絡み合った根深いものがあり、根本的な問題解決のためにはこれらすべての関係者の協力が不可欠です。

小野市では、いじめこそあらゆる人権侵害の根源であると捉え、学校におけるいじめだけでなく、家庭、企業、地域社会などでの虐待、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメントなどの問題を解決することが、人権侵害そのものの解決につながるという認識から、いじめ等を絶対に許さないという断固たる姿勢で、すべての市民の総意の下、その防止に取り組みます。

ここに私たちは、いじめ等のない明るく住みよい社会づくりを目指し、市民が様々な地域活動の中で築いてきた活力や学校における充実した教育力を基盤に、それらの力を結集していじめ等を防止するため、この条例を制定します。

「小野市いじめ等防止条例」は、12月定例会本会議の第1日目、12月4日、市長から議会に対して提案説明がありました。

本年4月に人権教育の再構築と専門組織の創設を決断し、行政のイノベーションをめざして新たにヒューマンライフグループを創設。

いじめ、児童・高齢者虐待、DV、セクハラなどのあらゆるいじめに関する情報を一元管理し、迅速に対応する新たな組織をつくりました。組織化の根底には、「いじめこそ、人権侵害の最大の根源である」という観点から、いじめに焦点を当て、あらゆる人権侵害をなくそうという考

え方であり、また、いじめ問題の全国的な多発を受け、「後手から先手管理」によるいじめ等防止を図る必要があると認識しました。

いじめ撲滅には、教師や保護者だけでなく、市民も含めたいじめに対する意識の改革、また、社会全体のいじめをなくそうという意識の盛り上がりがなくては、できないことでもあります。行政、市民、企業が連携して、市民総ぐるみでいじめ問題に取り組みうとするものです。

### ●条例の4つのポイント

- ① 学校におけるいじめだけでなく、家庭、職場、地域社会などにおけるあらゆるいじめを網羅したこと。
- ② 行政だけでなく、市民、家庭、学校、社会福祉施設、企業、公的機関、地域社会の責任と役割を明記したこと。
- ③ 市民会議を設置し、市民運動として防止活動を展開していくこと。
- ④ 市役所内の関係部署や関係機関との連携ネットワークの強化を図ること。

また、これから、(仮)いじめ等追放都市宣言を行い、市民会議への諮問を経て具体的な行動指針を決定するなど、市民等の協力を得て、総力を結集して取り組んでいきます。

# 全国初！いじめ等防止条例制定

市長から、小野市いじめ等防止条例の提案理由の説明を受け、市議会は、定例会議、第3日目の12月14日に、いじめ等防止条例に関する所管の民生保健常任委員会に付託し、詳しく審査することになりました。（民生保健常任委員会審査は、9ページを参照してください）

常任委員会の審査の結果、定例会議、第4日目の12月20日に、民生保健常任委員会委員長の審査報告があり、提出議案に対する討論（討論順に概要を下記に掲載しています）として、採決を行いました。17議員中、賛成16、反対1であり、原案の通り可決いたしました。

## 【反対討論】 鈴垣 元 議員（日本共産党）

いじめや人権侵害のない明るい社会は誰もが願うことであり、市のいじめ解消に向けた熱い思いは評価しますが、次の点で同意できません。

①いじめが多発する社会の根源に、労働法制改悪等による貧困層の増加、家庭崩壊させる社会環境、受験競争を煽り選別教育を強めてきた教育行政等があり、国の責任の明記が必要なこと。②条例化によって成果が求められるようになり、過度な「いじめ掘り起こし等」による摩擦、いじめの陰湿化が危惧されること。③罰則はないものの、情報提供や通報の義務が課せられ、市民などへの強制とも受け取れかねないこと。以上、いじめの問題は、市民の良識と社会常識に基づいて取り組む課題であり、住民主導のまちづくりの中で実現すべきであり、行政は支援に徹するべきと考えます。

## 【賛成討論】 井上日吉 議員（新生クラブ）

いじめ等防止条例の文章表現については、小野市からいじめ等を防止するのだ！という強い決意が読み取れます。全国へ発信され、多くの専門家の評価にもさらされ、また、諮問機関の役割を持つ市民会議にも諮られ、この条例が民意を反映したより良いものになっていくと思われれます。誕生しようとしている条例を育てあげることが大事ではないかと考え、小野市から発信できることを誇りとして議員全員賛同のもとで世に送り出したいと願っております。これからも曲折が予想されますが、内容が、さらに充実するよう、また、いじめ問題が一刻もはやくなくなるよう願っております。

## 【賛成討論】 藤本修造 議員（市民クラブ）

いじめ等防止条例の提出議案に対して、反対討論が行われること事態が理解できません。条例の前文にいじめ等を絶対に許さないという断固たる姿勢で、すべての市民の総意の下、その防止に取り組みます。との強い姿勢が貫かれております。この種の条例は官主導でなければ制定できません。これから論議されるであろうと思われる条例の不備は精査し、検討を加え、時間をかけて成果を追求すべきであります。自ら尊い生命を断ち切る事案を防止し、他人を思いやる心を育て、市民が共通の認識をもち義務を果たしてこそ地域社会が成り立っていくのであります。この条例を全国に発信し、小野市の挑戦し続ける姿を発信すべきと信じております。

## 【賛成討論】 川名善三 議員（公明党）

平成18年度で認知のいじめ件数は、全国で124,898件で前年比6.2倍と発表されました。小野市いじめ等防止条例は、いじめ問題が起きてから対応するのではなく、起きる前に防止する後手から先手管理の理念により、市民の意識を高めること、また、地域ぐるみの活動を広げ、早期情報収集と早期の対応ができること、そして、内外にいじめ防止に取り組む強い決意を示し、市民意識の変革をめざすこと、があげられます。いじめ問題の解消は、行政だけでなく、地域や家庭、企業も含めた意識改革と具体的対応が不可欠であります。まずは行政が条例制定という強い意思表示を行い、問題解決への具体策へと発展していくものであります。いじめのない明るい住みよい小野市となることを期待します。

●今期市議会で可決された主な議案●

市長提出議案

- ・平成19年度小野市一般会計補正予算(第3号)
  - ひまわりの丘公園整備事業 2,460万円
  - 全国ハーブサミット開催準備経費 170万円
  - 育ヶ丘女性消防隊の資機材等整備費 100万円
  - あお陶遊館アルテの開館準備経費 380万円
- ・小野市いじめ等防止条例の制定について  
(反対・賛成討論あり)
- ・小野市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の制定について
- ・小野市職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
(反対討論あり)
- ・特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
(反対討論あり)
- ・一般職の職員の給与に関する条例及び小野市一般職員の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・小野市公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・播磨内陸医務事業組合規約の一部変更について
- ・小野市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- ・小野市教育委員会委員の任命について

選挙

- ・小野市選挙管理委員及び同補充員選挙について

請願書

- ・割賦販売法の抜本的改正に関する意見書
- ・保険でよい歯科医療の実現を求める意見書
- ・医療費の総枠拡大に関する意見書
- ・兵庫青野原病院の結核病棟を存続し充実した病院を求める意見書

質疑、一般質問があります。

3月26日(水)	午後1時30分	本会議第4日
3月19日(水)	予算特別委員会	
3月14日(金)	予算特別委員会	
3月13日(木)	予算特別委員会	
3月11日(火)	午前10時	本会議第3日
3月10日(月)	午前10時	本会議第2日
2月28日(木)	午前10時	本会議第1日

3月定例会日程

3月定例会の日程が決まりました。

第352回 臨時会開催

市議会は、1月15日、市長の要請により臨時会を開催いたしました。市の提出議案は、議案第1号平成19年度小野市一般会計補正予算、議案第2号土地の取得についての2件です。

内容は、浄谷、黒川町にかかる山林など面積約100ヘクタールを、KDDI株式会社から金額約5億5千万円で購入しようとするもので、用地は文教ゾーン、スポーツゾーン、レクリエーションゾーンなどを計画し、将来市民に夢を与える用地として活用いたします。提出の2議案については、全会一致で可決いたしました。

◎議会の動き◎

【11月】

- 6日 地域振興常任委員研修会
- 8日 静岡県島田市議会視察受け入れ
- 9日 議員協議会
- 12日～13日 新生クラブ行政視察(鶴岡市・湯沢市)
- 19日～20日 議会運営委員会行政視察(松山市)
- 21日 福井県勝山市議会視察受け入れ  
兵庫県市町村職員退職手当組合議会  
市民クラブ研修会
- 27日 議会運営委員会・議員協議会  
総務文教常任委員研修会
- 29日 北播衛生事務組合議会・北播政経懇話会
- 30日 市民クラブ研修会

【12月】

- 4日 本会議(第1日)
- 5日 小野加東広域事務組合議会
- 6日 北播衛生事務組合監査  
播磨内陸医務事業組合監査
- 13日 本会議(第2日)  
議会運営委員会・議会報編集委員会
- 14日 本会議(第3日)
- 18日 総務文教・民生保健・地域振興常任委員会
- 20日 本会議(第4日)  
議員研修会

【1月】

- 10日 議会報編集委員会
- 11日 東播淡路市議会議長会事務局長会
- 15日 総務文教常任委員研修会
- 16日 民生保健常任委員研修会
- 18日 東播淡路市議会議長会定例会
- 22日 静岡県富士市議会視察受け入れ
- 23日 地域振興常任委員研修会
- 24日 北播政経懇話会新春特別例会
- 28日 山梨県甲州市議会視察受け入れ

■3月定例会も託児コーナーを開設します。  
詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。